

## 第2回 三重県立白山高等学校「学校運営協議会」概要

平成30年5月12日(土)

於：白山高等学校 校長室

### 1 あいさつ

#### ・ 白山高等学校長

本日はお忙しい中、授業参観と学校運営協議会に御参加いただきまして、ありがとうございます。本日、授業の様子を見ていただいて、授業の内容や生徒の様子等について、忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### ・ 三重県教育委員会(岩崎指導主事)

本日は、ありがとうございます。先生方が、積極的に授業改善に取り組んでいただいている様子を拝見いたしました。本当に熱心な御指導で、日々の御苦勞が理解できました。本日の協議を通して、さらに良い授業にしていければと思います。

### 2 報告事項

#### (1) 平成31年度入学生教育課程について

・ 平成31年度入学生の教育課程について、説明をいたします。お手許の資料を御覧ください。縦の点線が教育課程表にあると思いますが、これより左側については普通科と情報コミュニケーション科が「ほぼ同じ科目」を学びます。右側については、「選択科目」が中心となっております。

・ 選択科目の特徴として、3つあります。1つ目は、2学年の選択Sについてです。2年生のうちに資格に関する内容を学習しておいた方が良いという意見が多くあり、主に資格取得を目指した科目を選択科目としております。2つ目は、3学年の選択Cについては、教養社会や教養科学など、卒業してから役に立つ身近な内容を学習できる選択科目になっています。3つ目は、「総合的な学習の時間」が2時間から3時間になりました。増えた1時間は、就職してから必要になってくる知識等で、保険のことや銀行のことなどを勉強したり、講演会を行ったりする予定です。

また、平成31年度入学生は、2学年から普通科の類型が、「普通類型」と「福祉類型」という名称に変わり、今の2・3年生と違う名称になります。

#### (2) その他・・・ 特になし

### 3 協議事項

#### (1) 白山高等学校の学習指導について

・ 本日の授業参観を御覧になって、御意見等、ございましたらお願いします。

・ 年々、授業に対する生徒の態度が良くなってきています。生徒に集中力が出てきています。最初にお伺いした頃は、先生が勝手に授業をしているような感じがしていました。生徒は好き勝手にしていたり、スマホを開けたりしていました。授業は成り立つのか、本当に心配でした。しかし、先生方が様々なことを改善したりして、例年1年生は授業に集中

できない生徒が多いと思っていましたが、大変落ち着いた授業を行っていました。先生方は、生徒の興味関心をひく授業の組み立てをしていると感じました。生徒の集中力を途切れさせないような工夫をしていました。先生方の大変な努力に、頭が下がります。

- ・ 気になった点としては、教室の環境です。仕事もそうですが、環境で能率は変わります。環境で生徒も変わると思います。何とか教室の環境を改善してほしいです。生徒の荷物が多いいのは、よくわかりますが、…。環境をもっと整えたら、もっと良くなっていくんじゃないかなと思いました。以前は教室の床に、プリントが散乱していたこともあったので、まだマシになった方ですね。私たちが高校生の際は、服装なども乱れたらすぐ呼び出されました。髪が長かったらバリカンを持ってこられ、切られました。乱れるのはダメですが、らしさがあってもいいかと思います。全体的に、雰囲気は良くなっています。
- ・ 最初に数学の授業を見させていただきました。最初の方に、本時のねらいとして、「今日これを学ぶんだよ」という見通しと目標のお話がありました。とても、良かったと思います。
- ・ 次に、日本史を見させてもらいました。後ろに少し怖そうな生徒がいて、やる気のなさそうな生徒でしたが、その子に対して、「頑張ろう！」と言ったら、反抗されるんじゃないかと身構えたんですけど、素直に「はい！」と返事が返ってきました。そして、授業に向かっていきました。こちらも、とても嬉しくなりました。生徒が変わったなあと感じました。
- ・ 英語では、ビンゴで英単語を学習するという工夫がありました。もう自分自身も忘れていたような英単語もきちんと書いている生徒が多く、学力がついていると実感しました。
- ・ カリキュラムには、実施のカリキュラムと、身につくカリキュラムの2つがありますが、まさに、これは身につけているカリキュラムだと思いました。
- ・ 理科の授業を見させていただきました。コミュニケーションを多くとられている授業だと感じました。遺伝の分野でしたが、生徒の興味があることを上手く引き出していました。
- ・ 数学は、とても良いアクティブラーニングが実施されていました。「教えるより学ぶ」というALの1つの形を実践されていました。とても、良かったです。
- ・ クラスは習熟度別ではどちらになりますか。明らかに数学が苦手そうな様子の生徒がいて、一生懸命教えている生徒の姿もあり、学びの共同体を実感することができました。小学校や中学校の授業もよく見に行きますが、たまにALですと、グループの中に、参加する子と参加しない子がいたり、できない子ができる子のものを写すということがよくあります。グループにするだけで、やった気持ちになることがあります。ですが、白山高校では全員が参加しており、数学に意欲的に取り組んでいました。数学が苦手の生徒たちの授業とは思えなかったです。
- ・ 気になった点は、全体的に「言葉が多すぎる」ことでした。言葉は、生徒が聞いていなければダメです。小学校や中学校では、言葉が少ないと思います。小中学校の授業を見られても良いかもしれません。また小中学校とは当然違って、専門性の高い授業を全体的にされていました。

- ・ ある理科の授業は参観者がとても多かったですね。1年3組でしたか。公開授業ということでしたが、よそ行きの授業ではなく、普段の授業を見せていただいたと確信しております。今日の様子も、普段の授業の様子だと思います。
- ・ まず、すれ違う生徒が挨拶をしてくれました。これは非常に好印象でした。色々と、苦労されて、ここまで来たということが伺えます。クーラーのスイッチボタンのロック、ゴミ箱、掲示物の工夫など、御苦労があったと思います。前任校では、クーラーのスイッチボタンは全て隠してありました。あえて「見える化」してありましたが、隠すとその上に何か乗せたり、開けようとするところがありました。学習環境を整える努力をされたんだと思います。
- ・ 生徒と先生の距離が近いと思いました。授業によっても差はありますが、掛け合いがうまくできていました。前任の学校でもプリントにシールを貼ることで生徒は喜びました。そして、それが生徒のモチベーションを上げているようです。高校3年生まで、そのモチベーションが維持されるかどうかはわかりませんが、ビンゴのゲームを意識した授業形態も面白い工夫だと思います。
- ・ 板書がとてもきれいでした。私が入ってすぐに見ても、わかりやすかったです。生徒もわかりやすいと思いました。黒板にルールを書かれていたのも良かったです。明確で、わかりやすかったです。ざっくばらんに話もされていましたが、「静かに！」という性質のものではなかったです。ALや「学びの共同体」の考え方を取り入れていて良かったです。
- ・ ただ、生徒指導の面では気になることがありました。授業中に出て行く女子生徒、男子生徒が少し気になりました。体調不良もあるかもしれませんが、…。トイレでしょうか。出て行った生徒は、服装を着崩している生徒が目立ちました。スカート丈も全体的に気になりました。前任校でも、スカート丈や口紅で指導をしました。イエローカード6枚で訓戒、12枚で謹慎という制度も考えました。長いことお勤めだった先生には「そんなことはできない。無理だ。」というお声もありましたが、転勤してきたばかりの先生方は「できる」と言って、教員間でも議論がありました。実施した結果、一部の生徒は不満を持ちましたが、保護者からも連絡が来たりしましたが、結局98%の生徒はピシッとするようになりました。白山高校も、本当に大変なところを乗り越えられてきたと思います。今後、より上を目指してやってもらえたらと思います。
- ・ 生徒はシールでつられていて、かわいいですね。少人数を1年生はされているとのことでしたが、逆にTTを入れる方法もあると思います。現在、1年生でTTをされているのは何の教科があるのでしょうか。
- ・ 家庭科と情報系の科目です。
- ・ 学ばせることの1つに、そういう方法もありますね。TTと分割のどちらが良いという訳ではありませんが、…。ケースバイケースだと思います。
- ・ TTと分割をする少人数教育の使い分けですね。TTでないといけないこともあれば、少人数だからできることもあります。何が適切かということ踏まえて、検討するべきですね。今日の授業を見てもらった先生が、ここにみえますが、何かありますか。

- ・ 感想でもよろしいでしょうか。先ほど、ALの授業について御助言いただきましたが、取り入れることができたのは2年ほど前になります。当初は、基礎ができていないため、ALを取り入れても、間違っやり方を教えてしまったことがありました。ですので、基礎を固めた3年生から実践してみました。3年生は慣れてきましたが、1年生で取り入れるのは今年度からです。扱いやすい内容で、知識も難易度も厳選しましたが、それでもやはり不安です。少人数だから取り入れることができたのだと思います。不安な中、試すかたちで生徒には申し訳ないですが、全グループの言葉を聞き取れるように集中はしています。まだまだ模索中です。
- ・ よく小学校ではALの崩壊もみてきました。それは生徒へのフォローができていないからだと思います。少人数ということでフォローしやすいのはメリットですね。
- ・ 高校ですので、高度な内容である物理をしたいというのが本音にはあります。生徒には教科書には載っていないようなことを話す工夫はしています。生徒がたくさんのことを吸収できるのは今しかないです。化学基礎は人数が少ないので、目が届きます。しかし、2年生は、「興味をもっているかな？」と思う時があります。
- ・ 「運動部を活発に！」という学校の方針はよくわかりますし、学校もだんだん良くなってきていますが、その前に授業を大切にすることが、とても重要なことであると思います。
- ・ 理科の必修科目は、3つやらないといけないんですよね？1・2年生ですべて履修してしまうかたちですか？
- ・ 化学基礎、地学基礎、生物基礎、すべて1・2年で履修しています。3年では「科学と人間生活」を履修して、日常生活に役立つものを学習しています。例えば自動車学校へ行ったら、車の加速度を習いますよね。平成34年度から新学習指導要領になりますので、今後とも、検討をしていきたいと思います。

(2) その他・・・ 特になし

#### 4 連絡事項

(1) 次回の日程について

- ・ 第4回目は、9月21日（金）です。日程の変更があるかもしれませんので、改めて、郵送にて御案内いたします。
- ・ 第3回目は、6月10日（日）で、クリーン作戦が決定しています。

(2) その他・・・ 特になし